

羅臼町幼小中高の教育 実践編

幼稚園・小学校・中学校・高校の令和元年度の取り組み

令和元年度 羅臼幼稚園の教育

【実践編】

研究主題 ・『幼児の主体的な遊びや活動を支える保育者の役割』
～友達と思いを伝え合うために～

頑張りを認め合える子どもの育成

- 失敗しても大丈夫、助けてくれる、頑張りを認めてくれる関係を築けるために必要な環境と教師の役割を探る。
- 友達に伝わりやすい話し方、友達の言いたいことを理解しようとする姿を目指す。



疲れた？
友達の気持ちを
理解しよう
としています



海洋教育パイオニアスクールの取り組み

- 地元の海への関心・意欲の高まり、海を大切にする気持ちを育む。
- 自分達の住んでいる羅臼を知り、地元の産業に興味・関心をもち、知床学へつなげる。

市場見学



津波学習



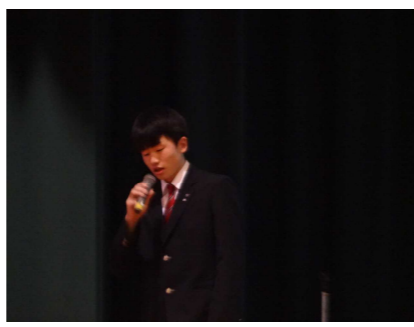
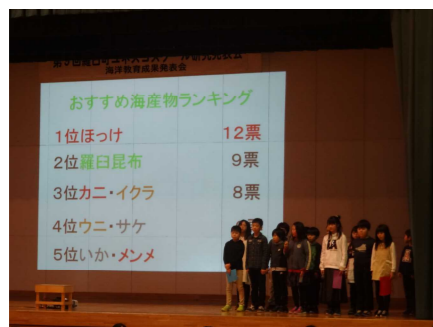
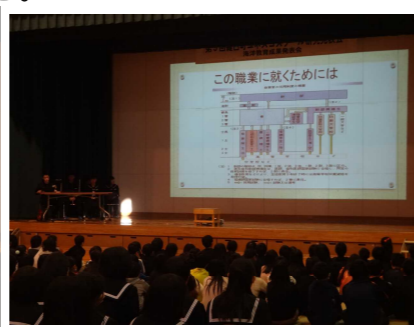
稚魚放流

一緒には行け
なかったけど
お話を聞き
ました。

ユネスコスクール研究発表会

12月7日（土）に第9回のユネスコスクール研究発表会が羅臼小学校を会場に開催されました。幼稚園からは、園児の作品が出品され、羅臼小学校からは、昨年度の昆布図鑑に引き続き昆布についての研究が発表されました。春松小学校からは、羅臼の魅力再発見、中学生からは、「北方領土訪問報告」・「職業体験学習のまとめ」、高校からは、「羅臼高校で学ぶ地域学」と「平和スタディーツアーに参加して」の発表が行われました。また、11月1日に札幌で行われた「海洋教育成果発表」で発表した内容を、参加した児童生徒が発表しました。

発表した子ども達はどの子も自分たちの成果を堂々と発表していました。発表の内容は、年を重ねるごとに充実した内容になってきているように思います。今年の発表会は、一般の方の参加者も多数ありました。



おめでとう！ 羅臼小学校6年生
「第63回全国学芸サイエンスコンクール」
旺文社赤尾好夫記念賞に入選 社会科自由研究「羅臼こんぶ図かん」

味噌作り



これと同じものを作りたい・・・
友達と考えながら進めています



遊びが楽しくなるために話し合い中



一人でじっくり取り組む姿も
大切にします。



令和元年度 春松幼稚園の教育

【実践編】

考えを表現し、伝えあえる 子どもの育成

- ・ 教師間の話し合いによって一人一人の幼児を多面的に捉え、幼児の『育ち』や『思い』を振り返る。
- ・ 幼児が考え、伝え、対話を通して考えを深めていけるような環境を用意する。
- ・ 幼児の驚きや不思議をみんなで共有したり、探求の輪が広がるようにしていく。



一日の振り返り

ICT を活用し、今日の遊びを振り返っています。写真を見ることが友達に伝えようとするきっかけとなり、聞いている幼児も視覚的情報で状況の理解がしやすく幼児同士のやりとりに繋がっています。



きのご発見！

裏山で見つけたきのこなんていう名前なのかな？本で調べてみよう！

家庭との連携



- ・ 家庭との信頼関係を築き、引き続きブログ、ドキュメンテーション等、様々な形の情報発信に取り組む。
- ・ 家庭での体験や夢中になっていることなどの情報から『幼児のつきたい力』を共有していく。
- ・ 保護者の立場での視点で考え、開かれた園を目指す。



ドキュメンテーション

送り迎えの時、短時間で見てもらえるよう玄関に掲示しています。

日曜参観日 (家庭教育学級 3回目)

保育参観後、スクールソーシャルワーカーの先生より『お父さんも子育てを楽しもう！』のテーマでお話して頂きました。



昆布番屋見学
漁協昆布倉庫見学

地域との連携



- ・ 海洋教育パイオニアスクールプログラムを通し、普段当たり前のようにある環境をより身近に感じられるような活動をしていく。
- ・ 地域の産業に興味をもち、幼児同士で考えたり、地域の人に聞いたりする機会を作っていく。
- ・ 地域の人々との繋がりや出会いを大切にしたい保育活動の工夫を図る。

羅臼海上保安署来園
海についての紙芝居を読んで下さいました。ゴミを捨てない約束をしました。



前浜のゴミ拾い、ゴミ分別



令和元年度 羅臼小学校の教育 【実践編】

学校の教育目標

ふるさと羅臼を愛し、未来を担う、
人として豊かな心と確かな力を身につけた児童の育成

今年度の重点

「繋がり」を生かし子どもの「成長が実感」できる教育を目指す

学力の向上に関する取組



基礎基本を身につけ、学びを実感する子どもの育成に関わる授業改善(研修)



ふり返りタイムとおき勉による主体的な家庭学習への取組

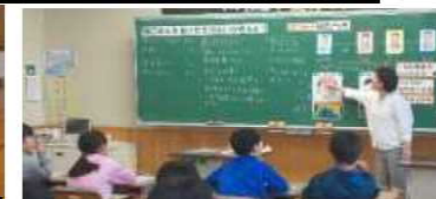


コンピューター室を利用した放課後学習の実施

健康・安全教育に関する取組



体力向上に向けたコーディネーショントレーニングの実施



栄養教諭による食育指導



防災意識の向上のための「1日防災教室」の実施

基本的な生活習慣の定着に向けた取組

- ・ 朝の挨拶の取組
- ・ たてわり班活動
- ・ 生活アンケートの実施と改善に向けた取組



異学年交流を目的としたたてわり給食の実施

英語科(外国語活動)・総合的な活動の時間の充実に向けた取組



ALTを活用した英語科(外国語活動)の充実



「ふるさと羅臼」の素材・人材を活用した総合的な学習の時間の充実



令和元年度 春松小学校の教育【実践編】

学校の教育目標

郷土の発展に役立つ実践力のある社会人となるために、勤労を尊び、仲良く助け合い豊かな情操と高い知性を持ち、何事もやり抜く心身ともに健康な子供を育てる。

今年度のテーマ

自分の思いを伝えあう

～「学びの喜びにあふれる学校づくり」を通して～

元気な子

自らつくる力の育成



歯磨き指導

給食交流

食育

消火訓練

考える子

自ら学ぶ力の育成

問題解決的・体験的な学習の充実



児童総会

クマ学習

浄化槽学習

昆布学習

津波学習

サケ学習

自主公開研究会

ICT研修

やさしい子

自らかかわる力の育成



園児との合同学習

わくわくにここ集會

異学年交

インターンシップ受け入れ

令和元年度

羅臼町立知床未来中学校【実践編】



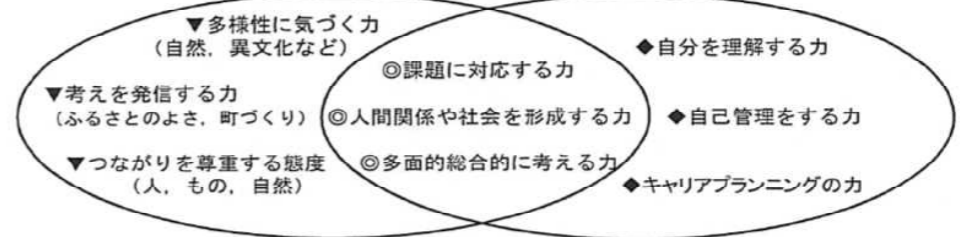
【今年度の重点】

- 1 基礎基本を確実に身に付けさせる学習指導の展開
- 2 望ましい人間関係の醸成
- 3 特別支援教育の充実

身に付けさせる力

よりよい社会を創るために

よりよい人生を創るために



よりよい人生を創るために



- 【授業】主体的に学習に向かい、グループで課題解決に向けて考えを深め合う学習を通して、自ら学び考える力を育成。
- 【生徒会活動】自他の感じ方やとらえ方の違いについて理解し、様々な問題について主体的に取り組もうとする態度を育成。
- 【職業体験学習】「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断する力を育成。

よりよい社会を創るために

- 【知床学（海洋教育）】・【ユネスコスクール】
地元を愛する生徒の育成。
- 【クルージング】地域のよさや課題について考えを深めることで、「多様性に気づく力」を育成。
- 【パンフレット】これまで学習してきた成果を羅臼町観光PRパンフレットの作成、新千歳空港での配布を通して「考えを発信する力」を育成。
- 【野外体験学習】地域の方を講師に、羅臼漁協でのセリを見学し、その後は羅臼の海で獲れる食材をメインに調理体験。「つながりを尊重する態度」を育成。



北海道羅臼高等学校の教育【実践編】



校章

尾白鷺が大空を飛翔する姿に、校歌に託された『からだつよく、こころさえぎえ』の理念を示す

校訓

「知床の自然のごとく厳しく美しく
羅臼岳のごとく悠然と」

今年度の取組

公開授業研修

今年度は全教員が公開授業を実施し、授業改善・授業力の向上に努めました。公開授業研には町内教育関係者を招いたことにより、様々な視点から貴重なご意見をいただきました。また、他校種の授業を見学に行くことで、指導法の幅を広げています。



らうす高校生一日議会

2年生が6班に分かれ、基幹産業である水産業への取組や、町のイベントの在り方について高校生の視点から質問や提案をしました。これにより、実際に実現に向けて動き出しているものもあり、町を動かすことができたという驚きと喜びを実感しています。

羅臼町ユネスコスクール研究発表会

本校からは、1年生の敦賀聖也君が「海洋教育成果発表」、四ツ屋太陽君が「平和スタディーツアーに参加して」、3年生の米井喜一君が「羅臼高校で学ぶ地域学」というタイトルで発表をしました。



対馬学フォーラム2019でのポスター発表（対馬市）

12月8日に対馬市で開催されました対馬学フォーラム2019に、2年生の川島美奈さんと三河愛菜さんが「羅臼と自然を残すために」というタイトルでポスター発表をしました。多くの方が訪れてきましたが、堂々とした発表で高い評価をいただきました。

第1・2回 アフタースクール

毎年教育大学釧路校の協力により行われているアフタースクールが今年度も、9月と11月にそれぞれ春松小学校と羅臼小学校を会場に実施されました。

4年生以上の学年を対象に行われており、第1回目は、9月7日（土）・8日（日）に行われ13名の児童が参加してくれました。第2回目は、11月9日（土）・10日（日）に行われ18名の参加でした。

教えてくれた大学生は、1回目は17名。2回目は18名でした。学生さん方は、4年生から6年生までのそれぞれの学年に、4～5名で担当し、各自が1時間ずつ交代で授業しました。

国語と算数を中心に社会・理科・英語の授業が行われました。

どの授業も、子ども達が楽しくわかるように学生さん方により一生懸命に考えられたものでした。授業後のアンケートでは、「楽しくわかりやすかった。」「とてもわかりやすかった」「是非来年も参加したい。」などの声が聞かれました。

来年もたくさんの児童が参加してくれることを願っています。

